

中学校1・2年生

学習時間のめやす:最低80~100分

60分+(20分×学年)

「若者には心を離すな」

思春期になったら目を離しても心を離さない

家庭学習のポイント

計画的・継続的な学びを進めましょう

- 予習復習を充実させる。
- 問題を解いた後が大事、見直しと発展問題に取り組む。
- 勉強もスポーツと同じ。継続することが必要。
- やればやるほどわからないことや疑問が生まれる。→そのままにしない。
- 先生を有効活用する。
- 体験を語ろう。

家庭学習の内容や方法

時間をうまく活用して

自主的に取り組みましょう

- 古文は、訳文と照らし合わせ、漢字も書いて覚えましょう。(国語)
- 教科書の例題を理解し、何回も繰り返し復習しましょう。(数学)
- 教科書の英文や単語を発音しながら、覚えるまで繰り返し書きましょう。(英)
- 予習復習に重点を置いて、繰り返し書いたり、確認したりしましょう。(理科、社会)



さわやかに
げんきよく
むちゅうになって

学校では…

- 1時間の授業が50分になります。
- 教科担任制になります。それぞれの先生のよさを取り入れましょう。
- 部活動が始まります。学習との両立が大切です。先輩たちのよさを取り入れましょう。



家庭での援助

- 取り組みを焦らず、あたたかく見守りましょう。不安や悩みをかかえやすくなります。
- 親子で「約束をつくる、守る、守らせる」ようにしましょう。
- 自信を持たせましょう。
- 子どもの変化、活躍に敏感になりましょう。
- 成長を支える食習慣づくりをしましょう。

アドバイス

- ・勉強大事、運動大事、学校行事大事
- ・ゆれる心
- ・腰骨を立てる、背筋を伸ばす
- ・足元を固めて、体も心も大きく成長



○1人1台端末(タブレット)を活用する。

・チーテレスタディー

<https://sites.google.com/ice.or.jp/chi-tele2/>

・中学校版 ちばのやる気ガイド(国、数、英、社、理)

<https://www.pref.chiba.lg.jp/kyouiku/shidou/gakuryoku/varuki.html>